

博物館の魅力 ミドルヤード 横山謙二

みなさんは、博物館に何を求めて行くのでしょうか？私が最初に博物館に行った記憶は、上野の国立科学博物館で開催した『大恐竜展：失われた生物たち：ソ連科学アカデミーコレクション』でした。私は、その頃のテレビ番組の特撮・アニメ番組『恐竜探険隊ボーンフリー』の影響で恐竜に興味をもち、恐竜化石を見たいと思っていました。まだ幼い時でしたが、入館するための大行列にならび、タルボサウルスや冷凍マンモスを見て感動したことを覚えています。

次に博物館へ行ったのは、それから何年かたち、学研漫画ひみつシリーズの『化石のひみつ』を読み、化石に興味を持った時でした。目的は、実際の化石を見てみたい、どこに行けば化石が採集できるのか？などを調べるためでした。その後、国立科学博物館の友の会に入会し、何度か、化石採集会や化石鑑定会などに参加しました。

みなさんが、博物館に行く理由も、私の子供の頃と同じように、『見たい』、『知りたい』、『調べたい』という要望に答えてくれる場所が博物館だからでは、ないでしょうか？こうした要望に答えるため、通常の博物館では、常設展示に多くの標本を展示し、展示解説を行っています。しかし、『知りたい』という要望に関しては、常設展や特別展だけでは十分でない時があります。例えば、標本の名前を知りたい時です。標本の名前を調べるためには見比べることが重要ですが、必ずしも展示室にはすべての標本がそろえられているわけではありません。また見比べるためには、どこを見比べたら良いのかという分類に必要な形質を理解する必要があります。図鑑やネットで調べてもわからない時、博物館に行き、学芸員や専門の先生に聞けるといっても博物館の魅力ではないでしょうか。

ふじのくに地球環境史ミュージアムのミドルヤードという部屋（講座室）は、展示室と研究室の中間という意味をもち、標本の作り方や標本採集道具等が展示され定期的に色々な標本が展示されています。そして時には専



ミドルヤード講座室C：植物学者になれる部屋



ミドルヤード講座室D：ふじのくに 昆虫ラボラトリー

門の先生たちが、標本の整理を行っているところを見ることができ、ネットや図鑑では伝わり切れない、標本の作り方も見ることができます。さらに、来館者が専門の先生に直接、質問、話ができるところでもあります。最近では『これは何ですか？』と標本を持って、ミドルヤードに来られる来館者も多くなってきました。その中には、思いがけない貴重な情報もあり、専門の先生を驚かせることもあります。

まだ知らない人も多いと思いますが、10月13日にこれまでの昆虫や植物のミドルヤードに加え、新たに地質・化石を専門とするミドルヤード「Geo class～地質・化石教室～」を開設しました。この教室は、NPOがミュージアムからの受託している業務、展示制作および製作等業務の一つとして、講座室Bを整備したものです。この整備は、10月13～19



ミドルヤード講座室B:Geo class 地質・化石教室

日にミュージアムで開催された「第1回アースサイエンスウィーク・ジャパン」開催にあわせて計画されたもので、この教室の趣旨は来館者の見たい・知りたいという要望にこたえ、地質や化石について学びたい、調べたいという人たちが集える場所をつくることです。そのため展示は、地質調査方法や古生物学の基礎的な話を中心にして、個人が採集してきた岩石・化石を見て比較できるように、いろいろな岩石・化石を展示しています。また、ケースに入れてある標本以外は、すべて触ることのできる、感触や粗い・細かいなどの手触りでの違いを体感できるようにしました。さらに水曜と金曜の週2回（時間は不定期です）、室内に整備された化石クリーニングルームで、NPOの宮澤市郎氏による化石のクリーニングの様子を見ることもできます。

私は、この教室で毎月1回化石・地質に関



Geo class 地質・化石教室の展示

する勉強会や化石採集会（2ヶ月に1回程、野外）などを行う地質・化石研究部会を開催しています（詳細は、Geo classの掲示板をご参照ください）。10月に開催した地質化石研究部会では、部会会員の子供たちも新設されたクリーニング室を使用し大変喜んでいました。

地質・古生物分野だけでなく自然科学分野の研究では、新たな発見がとても重要です。その新たな発見は、研究者だけでなく誰でもできることで、各地域の人たちが、身近なところで意外な発見をすることも多くあります。『これなんですか？』という質問は、研究者・専門家にとっても研究のための貴重な情報源の一つです。みなさんも、身近な自然で、わからない生物や岩石などを見つけたら、その標本をミドルヤードに持ち込み、各部屋にいる先生に聞いてください。



化石クリーニング室で、宮澤さんが化石をクリーニングする様子